

児童支援専任より

言葉は、人と人をつなぐ大切なツールの一つです。古代日本では、「言霊（ことだま）」とって、言葉に不思議な力が宿っていると信じられました。「言葉に出すと、本当になる」なんてことも、耳にすることがあります。そこまでではないにせよ、人は、言葉によって勇気付けられたり、うれしい気持ちになったりし、そのことがよい結果につながることもあります。逆に、言葉によって、傷つけられ、悲しい結果をもたらしてしまうこともあります。

だからこそ、どんな言葉を使うのかをよく考えることがとても大切です。言葉を受け取る相手の立場に立って考えたり、相手の気持ちを想像したりし、言葉を吟味して伝えていくのです。挨拶や温かい気持ちになる言葉を交わして、互いの生活をより豊かなものにしてほしいと思います。

年度末は、新しい学年への希望と共に、不安も大きくなる可能性があります。子どもたち一人ひとりが安心して毎日を過ごせているか、心配なことを抱えていないかということを見守り、達成感をもって卒業式・修了式を迎えられるよう声を掛けていきます。

ご家庭でも是非、励ましの声を掛けてください。また、お気づきのことがありましたら、お声掛けください。



児童支援専任